

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397400017
事業所名	グループホームいせ木

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 併設の地域交流センターの開放（地域のヨガ教室等に使用）で、地域の認知度も上がっている。職員の地域性が高く、職員を通じた地域との馴染みの付き合いの実現がある。近隣の畑からは野菜や果物の到来物が届くお付き合いもある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の会議開催がある。市の担当職員、地域包括支援センター、民生委員、家族の参加を得られ、運営の報告と意見交換を行っている。会議の中で把握した内容には迅速に対応するように努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の担当者、地域包括支援センターの運営推進会議への参加で、ホームの実状を理解してもらい、相互に連携を図れる関係にある。グループホーム事業所交流会立ち上げの話も持ち上がり、協働して行く方向性である。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の希望や要望は、主に面会時に聴取している。個別支援の一環として、利用者毎にお便りや写真を渡し、家族が意見を出しやすいように情報発信をしている。聴き取った意見には迅速に対応し、運営や支援に反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				